

42号

発行日：平成24年1月1日
発行元：社会福祉法人すづらんの会
理事長 大長 義信
〒252-0328
相模原市南区麻溝台7-1-7
TEL: 042-749-8881
URL: http://www.suzuran.or.jp

巻頭言

理事長 大長 義信

明けましておめでとうございます。

法人を代表して新年のご祝詞を申し上げます。

地域の皆さんに置かれましては、日頃から法人の事業活動に一方ならぬご支援ご協力を頂き、とりわけ就労支援や授産活動には広く門戸を開設して頂けている事に対しましては、職員一同深甚なる感謝の気持ちで一杯でございます。

旧年は3月の未曾有の大震災以来、東北地方だけでなく日本中が打ちのめされた様に感じられる年でしたが、今年こそは皆さんと手を携えて明るい未来に向かってはばたける年にしたいと思います。

私たち法人が活動の柱と位置付けている障害のある人達の就労支援は、始めてから20年を過ぎました。多くの企業の皆さまの理解ご協力が得られることになりました。

れるようになるにつれて、障害があつても様々な形で仕事に就く事が出来るようになってまいりました。

この分野のパイオニアを標榜する私たちは、これからも更にこの輪を広げていきたいと考えています。

又、私たちは昨今障害の心配のある幼児や児童を対象にした療育に力を入れて来ましたが、新年から3番目の事業所を立ち上げます。一人でも多くの方々のご期待に沿う事が出来ますよう努力致したいと存じます。

現行制度でありながら廃止の決まりについての障害者自立支援法は、平成25年夏には新法に変わって施行されることになります。骨格だけが示されている新法の詳細は未だ分りませんが、現行法の不備が補われ、真に障害者の福祉の向上に役立つ制度に変わってくれる事でしょう。

私たちを取り巻く環境は必ずしも安寧なものではありませんが、法人職員、役員一丸となって毎年にチャレンジする所存でございます。皆様方の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

変わらぬサービス提供を

総合施設長 松屋 直人

今年は障害者自立支援法に代わる障害者総合福祉法が、平成25年8月の施行に向けて、国会に上程される予定となっています。昨年8月に総合福祉部会が、中間まとめとして提言した内容を踏まえたものになると想われていますが、どうなるのか注目していきたいと思っています。措置制度・支援費制度・自立支援法・総合福祉法と、10年足らずの間に3回の制度変更が行われ、利用者・事業者ともに慌ただしい限りです。課題があるからと言って、制度を変更するのではなく、それぞれの課題を改善しながら、制度を育てていく必要も痛感しています。

当法人の各事業所は、制度変更により事業種名こそ変更されていますが、サービスの内容が根本的に変更されたわけではなく、利用いただいている方々が必要とするサービスを行っています。制度に振り回されず、提供しなければならないサービスを着実に行なっていきたいと思っていますので、今後とも皆様からのご支援とご鞭撻を宜しくお願い致します。



平成22年度

工賃支給実績第1位となつて

ワークショップ・SUN 佐々木 雅子

ワークショップ・SUNでは開設当初から、高工賃支給を、目標の一つに掲げ、積極的に取り組んできました。昨年度から、就労継続B型事業を開始した事により、県による工賃発表対象事業所となりました。その結果、何と初登場で、県内の就労継続B型事業所213事業所の1位となるという栄誉に輝く事が出来ました。

利用者の皆さんからは「金メダルを取った!」という声が聞こえるなど、今回の結果は自信や誇りを持って仕事に取り組める機会となり大きな喜びを感じています。また職員においても、日々の積み重ねがこのような結果に繋がった事を大変嬉しく思っております。

今は受注作業も社会情勢等の影響を大きく受け、作業確保の為に奮闘が続いております。このような状況下でも、引き続き高工賃支給が出来るよう、作業種の選択・作業の効率化・スキルアップを目指して、日々の積み重ねを大切に、利用者・職員が一丸となって授産活動に取り組んで行こうと思っております。

特集『ライフステージ』その3

青年期から壮年期

障害のある方の施設利用から就労までの流れを、就労移行支援事業をモデルケースに紹介します。

<事業所> (下図①~⑥)

◆就労訓練

施設での作業を通じ、働くための基本的な能力を高めることを目指します。職場見学会や就労者との交流会を通じ、「働く自分」が想像できるような個別支援を計画します。企業の中での作業（施設外作業）を行い、より就労に近い環境での職場経験を積むことで、ステップアップにつなげる支援も行っています。

◆就労までにできること

本人：施設での作業を通じ、挨拶・体力・作業遂行力生活習慣・等様々な体験を積んで習得を目指します。

家庭：手伝い役割分担・金銭感覚や生活リズムの調整等、働くために家でできることをします。

施設等：作業を通して課題の抽出と支援方法を見つけます。

見学・実習等、企業を知るような機会を設けます。



◆サークル活動

すずらんの会では休日を利用したサークル活動があります。（ボウリング・絵画教室・カラオケ・生け花教室・ゴルフ・英会話・ティーボール）

◆ガイドヘルプ（移動介護）

ガイドヘルプはヘルパーと利用者1対1での活動です。お一人では外出が困難な方にヘルパーが付き添い、ご希望の活動を行っております。（映画鑑賞・プール・ショッピング・遊園地・ウォーキング等）その方の趣味に合わせた楽しみ方が行えます。利用金額は活動時間に応じて原則1割負担になりますが、所得や他サービス利用状況によって負担額が異なる場合があります。※ヘルパー付き添い分の活動費用は利用者負担となります。例えば、映画鑑賞を行った場合はヘルパー含め2名分の交通費と入館料が利用者負担になります。尚、ガイドヘルプでは自動車を利用した送迎は行っておりません。

<就労支援> (下図⑦~⑪)

◆募集職種

1位：清掃作業、2位：製造補助作業（ライン作業等）、3位：事務補助作業（書類の照合等）

◆応募

ハローワークで求職登録をし、紹介を受けることが多いです。その他、合同就職面接会への参加もあります。やりたい仕事であるのと同時に、「自分に合っているか」を考えて選ぶことが重要です。

◆就労後の給料

平均的な時給・月額は最低賃金（836円/神奈川県）をベースに支払われることが多いです。

◆定着支援

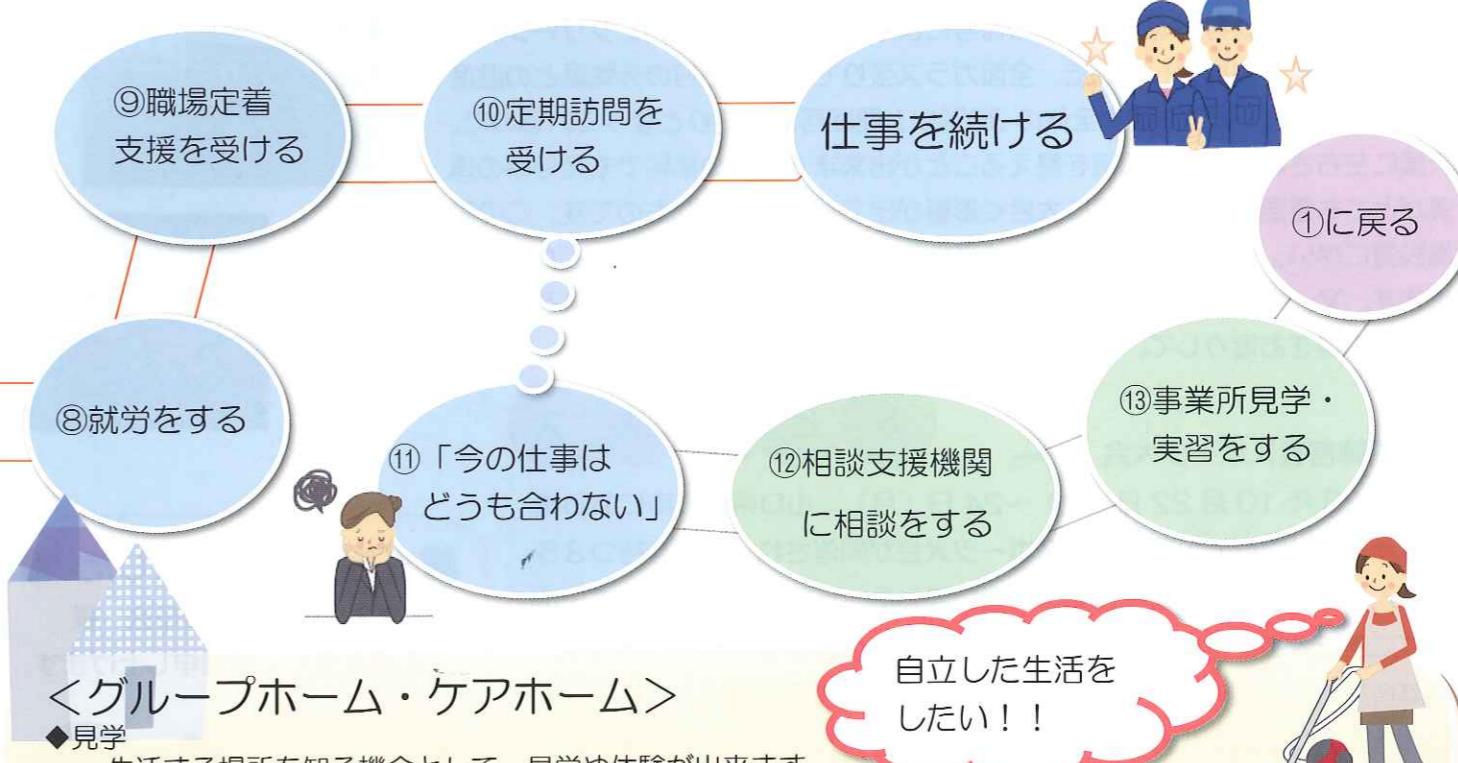
就労後、仕事や新しい環境に慣れるまでジョブコーチが付き、定着支援を行います。

◆相談

相談支援機関を利用します。すずらんの会では、就労担当者に相談をして頂き、対応をしています。

◆離職した場合

相談支援機関に相談し、次の職場や事業所を探します。すずらんの会では、出身事業所に戻り再チャレンジを支援しています。また、雇用保険に加入していた場合は失業保険の受給が出来ます。



<グループホーム・ケアホーム>

◆見学

生活する場所を知る機会として、見学や体験が出来ます。

◆ホームの1ヶ月の生活費

すずらんの会では1ヶ月に必要な費用は家賃を含め60,000円～80,000円位です。
例）家賃（個室）+34,500円（食費と雑費）です。※市町村によって家賃補助があります。

◆入居人数

すずらんの会では1棟に5～7名が入居しています。

◆入居の条件

15歳以上であれば可能です。自立した生活を送れる様、支援しています。

◆入居可能な期間

期間は決められていないので、特に限定していません。長い方では20年近く入居している方がいます。
すずらんの会での最年長の方は64歳の方がいます。

◆食事・金銭管理

食事はバランスのとれたメニューを職員が提供します。

金銭についての管理を希望する場合は、職員が個人別の出納帳を付け支援を行っております。

イベントのご報告

イベント委員会 宮原 義行

★サロンコンサート

サロンコンサートは、相模女子大学内の施設をお借りして10月8日の開催となりました。今年は、遠田歌子さん(ソプラノ)と吉垣知子さん(ピアノ伴奏)をお迎えしての歌の数々。そして、今では法人内のファンも多い、style-3!のダイナミックな演奏と、大学構内でのいつもと違った雰囲気でのコンサートでした。

★利用者作品展

10月24日～28日の間、相模原市民健康文化センターのリニューアルオープンに合わせ、今年からは「Pure Heart 作品展」と題し、利用者の方の絵画などの作品展を開催しました。リニューアルされた会場は明るく広々としていて、皆さん的作品も生き生きとしていた様に感じました。

★フェスタすずらん

10月29日に行われたフェスタすずらんは、晴天にも恵まれ過去にない来場者数700人を記録する事が出来ました。そして、今回初登場の団体の演奏やパフォーマンスに盛り上がり、来場された多くの方に楽しんでもらいました。



温室完成

グリーンハウス 大塚 孝行

公益財団法人森村豊明会様からの寄与により、平成23年9月、グリーンハウスに温室設備が完成致しました。全面ガラス張りで、晴れた日の外気温との温度差は+10°C以上、間口も建物全体の30%以上開閉可能な造りとなっているので、天候に左右されずに室内環境を整えることが出来ます。どの植物でも発芽時の環境がとても重要で、後の発育に大きく影響が出てしまう繊細なものです。この設備設置に伴い、今後四季折々の野菜や花の苗作りが格段に進歩することが期待出来ます。又、今まで栽培が困難だった品種にもチャレンジして行きたいと思います。この場をお借りして、森村豊明会様に感謝申し上げます。



→ 完成した温室

→ 苗の栽培にも
挑戦。作業の幅も
広がりそうです。



☆全国障害者スポーツ大会



ト ピ ッ ク ス

平成23年10月22日(土)～24日(月) 山口県山口市にある維新百年記念公園にて全国障害者スポーツ大会が開催され、障害を持つ3500人が参加し13種目を競い合いました。50M走とソフトボール投げに当法人利用者山本尚子さんが相模原市を代表として出場しました。両競技共に6位という結果でした。ご本人は大会を振り返り、「身近な人の付き添いがない中の参加で心細かったが沢山の方との交流が出来、とても良い経験になりました。」と明るく語っていました。

☆福祉功労賞受賞



平成23年9月に行われた相模原市社会福祉協議会主催の「市民福祉の集い」において、すずらんの家見元圭子施設長、グリーンハウス岩淵智子栄養士が福祉功労賞を受賞いたしました。皆様のご理解・お力添えに感謝し、さらなる福祉活動の普及・推進に努めてまいります。

☆新事業所開設

平成24年1月5日に大和市にて、児童デイサービス「ぱれっとやまと」のサービスをス開始予定です。詳細は次号にてご報告いたします。

ご寄付を頂きました

すずらんの会 父母会 様
この場を借りて感謝申し上げます。



編集後記

新年号はお知らせしたい内容が盛りだくさんでした。昨年は3月の震災より暗いニュースばかりが目立ちましたが、今年は明るい一年になる事を願っております。